

第53回 中部一線美術展を終えて

中部一線美術会事務局 羽 生 康 敏

- 会 期…令和3年9月30日(木)～10月3日(日)
- 会 場…津島児童科学館
- 出品者………14名 ◦ 出品点数………28点
- 来場者数… 268名

2021年も新型コロナウイルス禍の中で、本来の3月に名古屋市民ギャラリー栄での中部展は中止にしましたが、例年秋に行っている小品展を中部展として開催しました。

会場も車での利便性が良い津島児童科学館に変え、3月の中部展発表予定作品を中心に第53回中部一線美術展としました。

台風の進路を心配しましたが、幸い東海地方は晴天に恵まれ、全国的に新型コロナウイルス再拡大の中、会場での感染防止は

もちろん来場者の配慮もあり、案内もやや抑え気味にいたしました。中部一線ホームページやSNSでの地元への広報による来館者も見えました。会場が児童科学館併設のため、子供連れや地元の方々の来場者が多く盛況でした。

30号を上限とした個々の作品は各々の作風を生かした画風で描かれ、全体的なバランスも良い配置で展示できました。各作品について講評の場も設けてさらに向上出来る糧となれば幸いです。

尚、第54回中部一線美術展は2022年3月29日(火)～4月3日(日)に名古屋市民ギャラリー栄にて開催予定です。緊急事態宣言は解除されましたがウイズコロナの状況は避けがたく推移を見守りたいと思います。

